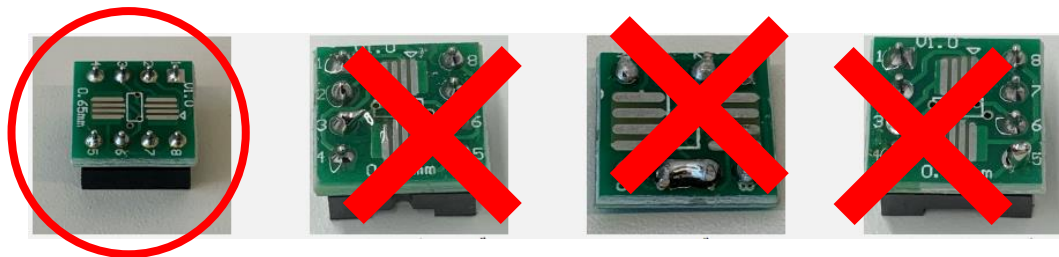
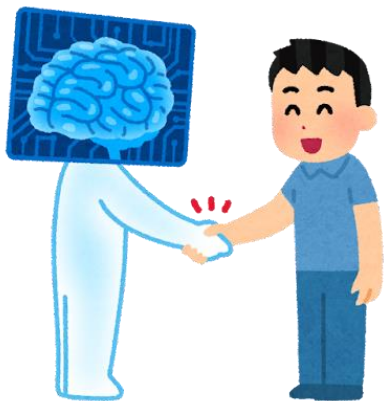


AI と協力して検品作業の効率化



検品業務における現状の課題

- 目視での判定が難しい
- 作業自体の負担が大きく、なかなか人材が定着しない
- 検査員に多くの人員が必要
- 人によって質やスピードの差が出がち

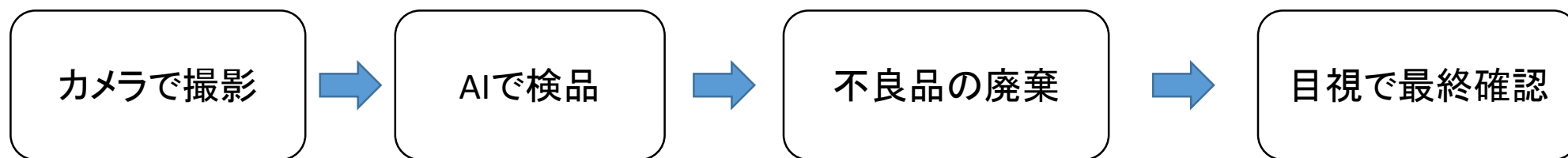


AIで検品業務を効率化する

- 目視作業の一部をAIに置き換え
- カメラとAIによって不良品を識別



AIを組み合わせた検品業務フロー



検証(PoC)でのモデルの精度

- ・カメラとAIでの不良品約85%の検出精度
- ・残り15%は目視で最終確認

効果

- ・ 人による検品作業工数を減らせる
- ・ 検品作業の作業員も減らせる
- ・ 人出の作業よりも精度とスピードが安定しやすい
- ・ 減らせる人件費 － 今回の機器投資分 ＝ 減らせるコスト

費用

必要な機器

カメラ 500万画素くらいのwebカメラ 約10,000円

AI用PC 約150,000円

不良品検知お知らせ パトライト 30,000円

コンサルタント費用 1,000,000円

導入の流れ

- ・ 現行のラインにカメラを新設
- ・ PCとパトライトを設置し、不良品を検知すると回転灯と音で通知